



平成 17 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 16 年 8 月 18 日

上場会社名 株式会社淀川製鋼所 (コード番号：5451 東証第 1 部、大証第 1 部)
 (URL <http://www.yodoko.co.jp/>)

代 表 者 役職名 取締役社長 氏名 鈴木 鐸志
 問合せ先責任者 役職名 上席執行役員 経理部長 氏名 寺田 剛尚 TEL (06) 6245 1113

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (内 容)
 引当金の計上基準、法人税等の計上基準に一部簡便的な方法を採用しております。
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成 17 年 3 月期第 1 四半期財務・業績の概況（平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 6 月 30 日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況 (注)記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示している。

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		四半期(当期) 純 利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年 3 月期 第 1 四半期	37,494	-	4,161	-	4,327	-	2,189	-
16年 3 月期 第 1 四半期	-	-	-	-	-	-	-	-
(参考) 16年 3 月期	145,815		10,326		10,631		3,925	

	1 株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1 株当たり 四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
17年 3 月期 第 1 四半期	12	69	-	-
16年 3 月期 第 1 四半期	-	-	-	-
(参考) 16年 3 月期	21	66	-	-

(注)売上高、営業利益、経常利益、四半期(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示す。
 なお、当社では当第 1 四半期より売上高、営業利益等を記載しているため、平成 16 年 3 月期第 1 四半期の売上高、営業利益等並びに各々の対前年同四半期増減率につきましては記載しておりません。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総 資 産	株 主 資 本	株主資本比率	1 株当たり株主資本	
	百万円	百万円	%	円	銭
17年 3 月期 第 1 四半期	186,062	129,587	69.6	751	15
16年 3 月期 第 1 四半期	-	-	-	-	-
(参考) 16年 3 月期	184,903	127,998	69.2	741	41

3. 平成 17 年 3 月期の連結業績予想（平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 3 月 31 日）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円
中 間 期	78,000	8,500	2,400
通 期	160,000	14,100	4,800

上記予想は、発表時現在において入手可能な情報及び計画に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の経済情勢等によって予想数値と異なる場合があります。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期におけるわが国経済は、輸出と設備投資を中心とした景況感の改善が引き続き進み、雇用・個人消費も緩やかに回復に向かうなど、ようやく本格的な回復の確実性が増してきた状況です。

このような状況のもとで、当期の課題となっております原材料価格の上昇に対応した販売価格の改定に取り組み、当社及び台湾子会社においても概ね順調に進展しております。台湾子会社における輸出向け先についても、経済成長抑制の政策から数量・価格とも厳しさの見られる中国地域から、北米への転換も進んでおります。台湾子会社での当初見込みを上回る円高による為替換算の影響と増収を見込んでおりました当社建材業務における未達成を除けば、売上高は順調に推移しております。しかしながら、第2四半期以降における原材料価格の一段の上昇への対応が更なる課題となっており、引き続き販売価格の改善に取り組んでまいります。

一方、利益面におきましては、平成16年3月期の決算発表時に開示しました平成17年3月期中間期の利益予想に対して、既に第1四半期において各利益段階で50%を上回る達成となっております。これは、第2四半期に較べ第1四半期の方が原材料価格の上昇等のコスト面での影響が薄まる傾向があることによるものでもありますが、当初見込みに対して順調に推移しております。

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

総資産は、前連結会計年度末に比べ11億59百万円増加して、1,860億62百万円となりました。たな卸資産が18億51百万円増加したことが主な要因ですが、これは主として原材料価格の高騰による生産コストの上昇によるものです。また、株主資本は、支払配当等の利益処分により減少しましたが、当第1四半期の純利益の計上により前連結会計年度末に比べ15億88百万円増加し、1,295億87百万円となりました。この結果、株主資本比率は、前連結会計年度末の69.2%から69.6%になりました。

[業績予想に関する定性的情報等]

8月10日付の開示資料でお知らせしましたように、台湾子会社は、同社の中間決算（平成16年1月～6月）において、保証損失6億50百万台湾ドルの計上をおこなっており、これは当社連結業績の中間(当期)純利益で約8億20百万円減少させることとなります。一方、原材料価格の上昇に対応した販売価格の改定は、今のところ概ね順調に推移しており、連結業績予想では営業利益、経常利益ともに当初予想に対して大幅な増益となる見込であり、中間(当期)純利益においても上記損失を吸収して増益が見込まれております。

また、平成16年度通期予想におきましても、下半期での原材料の入手量及びその価格並びに当社製品販売価格の改善の進展度合い等の不透明な部分もありますが、現在のところ上半期を下回る水準で想定されます下半期の連結業績見込を今後大きく押し下げる変動はないものと予想しておりますことから、昨年度を上回る業績を見込んでおります。

添付資料

（要約）四半期連結貸借対照表、（要約）四半期連結損益計算書など

以 上

[参 考]

平成 17 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況（個別）

1. 平成 17 年 3 月期第 1 四半期財務・業績の概況（平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 6 月 30 日）

(1) 経営成績（個別）の進捗状況

（注）記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示している。

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		四半期（当期） 純 利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年 3 月期第 1 四半期	22,608	-	1,992	-	2,307	-	1,431	-
16年 3 月期第 1 四半期	-	-	-	-	-	-	-	-
（参考）16年 3 月期	89,650		4,353		6,214		3,009	

	1 株当たり四半期 （当期）純 利 益		潜在株式調整後 1 株当たり 四半期（当期）純 利 益	
	円	銭	円	銭
17年 3 月期第 1 四半期	8	11	-	-
16年 3 月期第 1 四半期	-	-	-	-
（参考）16年 3 月期	16	38	-	-

（注）売上高、営業利益、経常利益、四半期（当期）純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示す。
 なお、当社では当第 1 四半期より売上高、営業利益等を記載しているため、平成16年 3 月期第 1 四半期の売上高、営業利益等並びに各々の対前年同四半期増減率につきましては記載していません。

(2) 財政状態（個別）の変動状況

	総 資 産	株 主 資 本	株主資本比率	1 株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年 3 月期第 1 四半期	158,806	126,381	79.6	715 58
16年 3 月期第 1 四半期	-	-	-	- -
（参考）16年 3 月期	159,266	125,657	78.9	711 25

3. 平成 17 年 3 月期の業績予想（平成 16 年 4 月 1 日 ～ 平成 17 年 3 月 31 日）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円
中 間 期	46,000	5,200	3,000
通 期	94,000	7,100	4,000

上記予想は、発表時現在において入手可能な情報及び計画に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の経済情勢等によって予想数値と異なる場合があります。

[添付資料]

1.(要約)四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当連結第1四半期末 (平成16年6月30日)	前連結会計年度末 (平成16年3月31日)	増 減	前連結第1四半期末 (平成15年6月30日)
	金 額	金 額	金 額	金 額
(資産の部)				
流動資産	[85,754]	[84,366]	[1,387]	-
現金及び預金	14,730	15,077	346	-
受取手形及び売掛金	36,143	35,574	568	-
たな卸資産	23,431	21,580	1,851	-
その他	11,449	12,135	685	-
固定資産	[100,307]	[100,536]	[228]	-
有形固定資産	68,502	69,240	737	-
無形固定資産	282	288	5	-
投資その他の資産	31,521	31,008	513	-
資産合計	186,062	184,903	1,159	-
(負債の部)				
流動負債	[28,281]	[29,582]	[1,301]	-
支払手形及び買掛金	14,413	14,674	260	-
短期借入金	5,800	5,828	28	-
その他	8,067	9,079	1,012	-
固定負債	[15,365]	[15,380]	[15]	-
退職給付引当金	7,039	7,145	105	-
その他	8,325	8,235	90	-
負債合計	43,646	44,963	1,316	-
(少数株主持分)				
少数株主持分	[12,828]	[11,941]	[887]	-
(資本の部)				
資本金	23,220	23,220	-	-
資本剰余金	23,220	23,610	389	-
利益剰余金	81,854	80,175	1,678	-
土地再評価差額金	876	874	2	-
その他有価証券評価差額金	7,332	7,135	197	-
為替換算調整勘定	2,942	3,081	138	-
自己株式	3,974	3,936	37	-
資本合計	129,587	127,998	1,588	-
負債、少数株主持分及び資本合計	186,062	184,903	1,159	-

(注)増減は当第1四半期末と前連結会計年度末との比較で表示しております。

2.(要約)四半期連結損益計算書

(単位:百万円、%)

科 目	当連結第1四半期 (16.4.1~16.6.30)	前連結第1四半期 (15.4.1~15.6.30)	増 減		前連結会計年度 (15.4.1~16.3.31)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売 上 高	37,494	-	-	-	145,815
売 上 原 価	29,532	-	-	-	119,777
売上総利益	7,961	-	-	-	26,038
販売費及び一般管理費	3,800	-	-	-	15,712
営業利益	4,161	-	-	-	10,326
営業外収益	392	-	-	-	1,082
営業外費用	226	-	-	-	777
経常利益	4,327	-	-	-	10,631
特別利益	28	-	-	-	104
特別損失	53	-	-	-	1,279
税金等調整前 四半期(当期)純利益	4,303	-	-	-	9,455
法人税等	1,378	-	-	-	3,261
少数株主利益(減算)	735	-	-	-	2,268
四半期(当期)純利益	2,189	-	-	-	3,925